

委員会 送付26-24

神田地区の認可保育園等の早急な整備と延長保育、病後児保育等の充実を求める陳情

受付年月日 平成26年9月8日

陳情者

陳情書

(趣旨)

ここ数年、千代田区では認可保育園やこども園、幼保一体施設（以下「認可保育園等」という。）への入園を申し込んでも入れない子どもたちが増えており、7月現在で219人に達し、昨年同月の181人と比べても21%増加しています。入園できない子どもを抱える保護者はみな、少なからず人生設計の変更を余儀なくされ、精神的にも経済的にも苦しい思いをしています。特に、神田地区では、現段階では新たな認可保育園等の整備や既存園での定員枠拡大の動きが見られませんが、特定園留保者は約半数の37人が神田地区在住で、麹町地区と同じペースで増加しており、保護者は非常に不安な気持ちを抱えながら入園を待ち続けています。千代田区は待機児童ゼロと言っても、乳幼児連れの保護者でも無理なく通園可能な保育園となると選択の幅が限られます。このような特定園留保児童がたくさんいる神田地区でも保育園を増設しなければ本当の意味での待機児童ゼロとは言えません。

都心回帰の流れも受けて区内では今後もさらにマンションの建設が進み、それに伴い子育て世代の住民が増えていけば、保育の需要もさらに高まることを見込まれます。

多くの保護者は「子どもの成長・発達にふさわしく施設の設備も保育士の配置も十分になされた認可保育園等に子どもを預けたい」という思いを持っています。保護者からのニーズの高い認可保育園等を整備することは自治体の責務です。「安心して子どもを預け、働くことのできる認可保育園等を整備してほしい」という保護者の強い要望に応えていただきたいと思えます。

また、保護者が安心して子供を育てつつ、働き続けるためには、延長保育や病児・病後児保育の充実も必要だと考えます。延長保育については、特に、神田地区では、19時半以降の延長を行っている認可保育園等がほっぺるランド西神田のみであり、区の東部在住者は現実的には利用できません。さらに、病後児保育についても、神田地区では、神田保育園一園のみです。認可保育園等での取組だけではなく、現在建て替え工事中の駿河台日大病院との協力等による病児・病後児保育の充実は検討できないでしょうか。地域バランスを考慮しながら、充実に向けた取組みをぜひお願いします。

陳情項目

- 一、希望するすべての子どもが通園可能な園に入れるよう早急に認可保育園等を整備すること。
- 二、需要の高い0歳児、1歳児クラスについて緊急対策を講じること。
- 三、上記一、二の対策の一環として旧神田保育園園舎を活用すること。
- 四、認可保育園等における延長保育を充実させること。
- 五、認可保育園等において、また、近隣の病院との連携等により、病児・病後児保育を充実させること。

平成26年9月8日

千代田区議会議長 嶋崎 秀彦 殿